台湾夏期英語／中国語・台湾文化研修報告

工学部・研究科　電気システム工学科・課程・専攻　3 年　（氏名　八藤拓己）

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　2017 年　8 月　16 日　～　2017 年　8 月　30　日

〇渡航時の学年：　**3**　年次

〇渡日前の手続について
・参加に至った経緯について：

友達が海外でホームステイしたときにとても楽しかったと聞いて、海外に興味を持ったのと、国際連携センターに相談したときに紹介していただいたのがきかっけです。
留学費もとてもリーズナブルでプログラムがとてもおもしろそうだと感じたから。

・渡航に関する手続について：

海外の保険に加入する手続き
航空機の予約
海外で携帯を使えるようにするための手続き

・査証取得：
なし

★体験記：

渡航費用は一か月前に予約して 30,000 円くらい。台湾は物価が安いので食事代やお土産代に困ることはなかった。寮の環境は Wi-fi もありスマホで連絡をとることができた。一部屋 4 人部屋で机があり、その上にベッドがあるつくりになっている。エアコンと扇風機で暑さに困ることはない。ロビーがあり、毎晩たくさんの友達と話したり、遊んだりした。大学はとても広かった。外にはバスケットコートがあり、台湾のチューターさんと何回かバスケをした。大学は日本の大学とさほど差はなかったように感じる。授業は英語と中国語があり、私は英語を専攻した。英語の先生はカナダ人でとてもきさくでおもしろい元気な先生だった。最初から最後まで全て英語での会話、授業であったが、楽しく、集中して授業にとりくむことができた。私が一番心に残ったのが、人とのかかわりである。台湾のチューターはとても優しく、また日本語もペラペラでびっくりした。日本からきていた大学生も親しみやすくたくさん友達ができた。台湾はとても暑い。37 度のときもあり、湿気も多いので体感温度 40 度くらい。日本の夏の少し熱い場所と思えば大丈夫。過ごしにくいということはない。

〇生活費：

渡航費は 30,000 円。寮費は 67,000 円。食費は 30,000 円。

〇大学のサポート状況:

チューターは日本語を上手に話せる。
台湾の話を頂いたのも国際連携センターのサポートが充実していたから。

〇授業の様子:

私は英語の授業を専攻した。全部英語で聞き取れないこともあったが、先生がとてもフレンドリーで接してくれたり、各大学の友達と話し合ったりして授業に臨むことができた。私も英語が得意ではないので話すことが苦手なひとでも大丈夫。

〇他の留学生たちの様子:

たくさんの大学からきていた。近くでいえば大分大学、有名なところでいえば、東京外国語大学、広島大学など。広島大学からきている留学生は中国出身の方だった。各大学合わせて 70 人くらいだった。みんな面白い人が多く親しみやすかった。日本に帰ってからも連絡をとるほど仲良くなった。

〇現地学生との交流:

私は台湾のチューターに一番お世話になった。台湾滞在中にのどを痛めて風邪をひいたが、チューターが心配してくれ薬も持ってきてくれた。とても助かった。日本語も上手なので、食べ物を注文するときに教えてくれたり、日本のことで盛り上がったり、時には冗談をいってふざけあったりした。だから、最後の日の別れがとても辛くお互い号泣した。それくらい毎日充実した 2 週間を過ごすことが出来た。

〇街の様子:

大学の位置は街から少し離れたところにあった。日本で例えるならば千葉に位置している感覚だ。バイクとタクシーが多かった。移動はバスとタクシー。そんなにお金はかからない。街の様子は看板とか全くよめなくて新鮮だったのと、渋谷みたいな若者のお店もあれば、文化を大切にしている街もあり、面白かった。物価も安いのでショッピングには最適な場所といえる。

〇その他:

ティッシュペーパーは持っていくと便利。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

初めて海外に行く人にお勧めします。親日なのでとても歓迎してくれる。モテます(笑)
ご飯もとてもおいしく、チューターもびっくりするほどやさしい。日本語も話せるので何も心配いりません。英語、中国語が流暢ではなくても大丈夫。むしろ行って学ぶのですから。日本から遠すぎないというのもいいかもしれません。時差も一時間しかないので日本の友達や家族とも連絡取りやすい。私はもうすぐにでも台湾行きたい。それくらい2週間たのしかった。だから行ってみてください！

～宮大生のための海外渡航～

～宮大生のための海外渡航～